

2020年10月7日 17時52分

平野ロジスティクス CEIVファーマ取得目指す 専用車両・社内教育を充実



専用車両も導入し医薬品輸送を強化



関西国際空港内の保税倉庫を活用してサービスを拡充

平野ロジスティクス関西支店は高まる医薬品取扱需要に対応するべく、専用車両の導入、社内教育の充実により品質向上に務めている。製薬会社と直接契約している事業案件もあり、そこで得たノウハウ・知見を生かしてサービス水準を高めている。国際航空運送協会(IATA)の医薬品輸送品質認証CEIVファーマも視野に入れており、2021年中の取得を目指している。一方、昨年7月に保税蔵置場許可を取得した関西空港内の倉庫を活用した貨物取り扱いサービスを強化している。従来の輸入貨物に加えて、今年10月には輸出貨物の取り扱い本格的に開始。陸上輸送と倉庫業務を一体化したサービスをさらに充実させる。

関西圏の医薬品関連物流の需要の高まりを受けて、大型車(10トン車)や4トン車を含めて医薬品専用車両も充実させている。医薬品取り扱いに力を入れている関西エアポート、同空港の医薬品専用共同定温庫「Kix-Medica」、同定温庫を運用しているCKTSのロゴを施した「Medica号」も運行している。作業時間を短縮するため、製薬会社の強い希望で採用したエアショルダー搭載の専用車両も強みだ。同車両にはサーキュレーターを装着しており、庫内温度がより安定する構造となっている。

人材育成・教育にも力を入れている。フォワーダーをはじめとする物流会社、製薬会社の事業案件も多い。田中基康・西日本担当営業部長兼関西支店長は「医薬品関連輸送の引き合いは増加傾向にある。例えば、CEIVファーマ認証取得企業の輸送を受託するに際しての品質協定書の締結案件も増えている。製薬会社との直接取引を通じて医薬品を取り扱うためのノウハウを蓄積し、品質を高めてきた。今後はCEIVファーマ認証の取得を目指し、さらに品質向上、社内体制の整備に務めたい」と話す。

西端純一店長代理は「医薬品取り扱いに関しては、求められる品質が年々高まっている。常に先取りして社内手順・基準を更新することが重要と考えている。ハードおよびソフトともに一層の品質向上を図っていく」と強調する。今後の医薬品取扱需要の高まり、さらには新型コロナウイルス用ワクチン需要といった動向を注視しながら体制を充実させる方針だ。

■関空内上屋で輸出貨物取り扱いも

平野ロジスティクスは現在、関西国際空港第2国際貨物代理店ビルで保税倉庫を運営している。保税蔵置場面積は746平方メートル(うち屋外268平方メートル)



DHL クローバル フォワーティング ジャパン株式会社

**2021年版
海運・造船会社要覧**

予約
受付中!

おすすめ特集

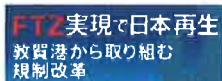
- 大阪税関・大阪通関業会特集
- 物流BCP特集
- 東京港特集
- 茨城の港湾特集
- 成田空港フォークリフト・パレットビルディング競技会特集
- 国際物流総合展特集
- 大阪港特集
- リーファー輸送特集
- 新潟東港開港50周年特集
- 半導体・電子デバイス製品・精密機器輸送特集

★ アクセスランキング ★

きょう 前号 過去1週間

8時36分現在

- コロナ禍の物流各社の出資戦略 物流子会社、海外、デジタルに矛先
- 【通関業の日特集】
- BCPで見直し、通関士在宅勤務
- 近鉄エクスプレス <9月 航空輸出混載> 15% 減の1万313トン、6ヶ月ぶり1万トン超え
- J&JやMSDが呼び掛け ワクチン空輸、世界一丸の取り組みを
- スクート 改造旅客機で貨物便200便以上運航
- 日通総研・20年度貨物輸送見通し コロナ収束遅れで輸出下振れ拡大
- 平野ロジスティクス
- CEIVファーマ取得目指す 専用車両・社内教育を充実
- 【展望台】飛行機が「密」になる場所



発行書籍のご案内

電子書籍のご案内



ル)。昨年7月に保税蔵置許可を取得。フォワーダーの輸入貨物の取り扱いを開始した。今年10月に輸出貨物の取り扱いを本格的に開始した。

輸入貨物の取り扱いに関しては、航空会社からの貨物引き取りやダメージチェック、ブレークダウン、検品、配送に至るまで、通関以外の各種業務を手掛けている。輸出貨物に関しては、同倉庫に搬入後にフォワーダーによる通関が行われて航空会社への引き渡し、あるいは他空港への搬入などの業務を実施する。輸出貨物の取り扱いに伴ってトeingトラクタ、パレットドーリーを保有し、ビルドアップもメニューに加わった。

平野ロジスティクスは関西空港周辺の物流拠点との集荷・配達、関西空港と他空港を結ぶ長距離の保税転送などを提供しており、倉庫業務と一体化したサービスを窓口一つで提供できることが強みだ。平野ロジスティクスのオリジナルトレーラーである「+1」「+1α」といった車両も常時、配備している。

戻る

航空業界の現金支出拡大 下期770億ドル、来年も手元資金流出続く
ボーディング需要予測 今後20年で民間航空機数1.9倍に



CARGO 動画アーカイブ ~YouTube~

新聞読者のWeb会員登録

CARGO プロモーションビデオ ~女性編~

CARGO プロモーションビデオ ~記者編~

▲ページの先頭へ

電子書籍のお申込み・購読方法

新聞のお申込み(購読/試験)

新聞読者の電子書籍ユーザー登録お申込み

Daily-Cargoメールマガジンお申込み

Daily-Cargoとは

会社概要

お問い合わせ

プライバシーポリシー

会員規約

ご感想について

著作権/リンクポリシー

お客様について

特選面取込法について

記事検索

DATABANK

電子経済版

ヘルプ

サイトマップ